

- 成 14 年 4 月
2. Nakayamada S, Saito K, Nakano K, Tsukada J, Tanaka Y: Effective combination therapy of cyclophosphamide, vincristine and prednisolone for refractory lupus nephritis. 26th International Congress of Internal Medicine, Kyoto, 平成 14 年 5 月
 3. 田中良哉. 関節リウマチの病態と治療の最近の考え方. 第 25 回日本内科学会九州支部生涯教育講演会 (教育講演)福岡, 平成 14 年 4 月
 4. 田中良哉: 炎症細胞の遊走機序. 第 52 回日本アレルギー学会総会(教育講演)横浜, 平成 14 年 11 月
 5. 田中良哉. リウマチ・膠原病 —治療の新展開—. 第 26 回日本医学会総会 (教育講演) 福岡, 平成 15 年 4 月
 6. 田中良哉. ステロイド抵抗性疾患に対するシクロsporin療法戦略. 第 46 回日本腎臓学会学術総会 (ランチョンセミナー) 東京, 平成 15 年 5 月
 7. 田中良哉. 生物製剤. 第 18 回日本臨床リウマチ学会総会(シンポジウム) 札幌, 平成 15 年 10 月 2-3 日
 8. 田中良哉. ステロイド性骨粗鬆症の薬物療法. 第 5 回日本骨粗鬆症学会総会 (シンポジウム) 福岡, 平成 15 年 10 月
 9. 田中良哉. 免疫学的ツールの臨床応用. 第 31 回日本臨床免疫学会総会 (シンポジウム) 東京, 平成 15 年 10 月
 10. 田中良哉. 免疫シグナルと続発性骨粗鬆症の病態機構. 第 18 回日本整形外科学会基礎学術集会 (教育研修講演) 北九州, 平成 15 年 10 月
 11. 田中良哉. Targeting cell surface molecules in autoimmune diseases. 第 33 回日本免疫学会総会学術集会 (シンポジウム)福岡, 平成 15 年 12 月
 12. 田中良哉. 関節リウマチの新しい考え方—抗サイトカイン療法によりブレークスルーできるか—. 第 2 回大阪 RA フォーラム (特別講演) 大阪, 平成 16 年 2 月
 13. 田中良哉. 抗リウマチ薬が効かなくなる原因とは? 厚生労働省「厚生科学研究公開シンポジウム」東京, 平成 16 年 2 月
 14. 田中良哉. 抗リウマチ薬. 平成 15 年度厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究推進事業リウマチ・アレルギーシンポジウム Part 2 (シンポジウム) 東京, 平成 16 年 2 月
 15. Tanaka Y, Tokunaga M, Fujii K, Nawata M, Tsujimura S, Nakayamada S, Saito K. A pilot study of rituximab (anti-CD20) for refractory systemic lupus erythematosus: relevance of quantity and quality reduction of B cells to clinical efficacy. The 68th National Meeting of American college of Rheumatology, San Antonio. 平成 16 年 10 月
 16. 田中良哉. 生物学的製剤. 第 48 回日本リウマチ学会総会学術集会(シンポジウム)岡山 平成 16 年 4 月
 17. 田中良哉. B 細胞を標的とした治療. 第 16 回日本アレルギー学会春季臨床大会(シンポジウム)前橋 平成 16 年 5 月
 18. 田中良哉. 関節リウマチ治療のこれからの流れ. 第 32 回日本臨床免疫学会総会(教育講演)東京. 平成 16 年 10 月
 19. 田中良哉. SLE の治療の進歩:新規生物学的製剤の可能性. 第 54 回日本アレルギー学会総会(シンポジウム)横浜, 平成 16 年 11 月
 20. 田中良哉. 炎症メディエーターを標的とした自己免疫疾患の治療の進歩. 第 24 回日本アフェレンス学会 (特別講演)浦安. 平成 16 年 11 月
 21. 田中良哉. 関節リウマチ治療の新展開. 平成 17 年度日本内科学会生涯教育講演会(教育講演)大阪. 平成 17 年 2 月
- H.知的財産権の出願・登録状況(予定も含む)
1. 特許取得
田中良哉
○ Fas 抗原発現増強剤(特開 2003-171282)
 2. 実用新案登録
該当なし。
 - 3.その他
該当なし。

【IV】研究成果の刊行に関する一覧表

*** 研究成果の刊行に関する一覧表 ***

書 籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍名	書籍全体の編集者名	出版社名(出版地)	ページ	出版年
田中良哉	接着分子	リウマチ基本テキスト	吉野慎一、山本一彦編	日本リウマチ財団(東京)	81-88	2002
田中良哉	ケモカインと接着分子	免疫疾患—state of arts (第2版)	今西二郎、淀井淳司、湊長博、山本一彦編	医歯薬出版(東京)	124-128	2002
田中良哉	好中球の異常	新臨床内科学第8版	高久史麿、尾形悦郎、黒川清、矢崎義雄編	医学書院(東京)	1955-1956	2002
田中良哉	混合性結合組織病(MCTD)	今日の診断指針(第5版)	亀山正邦、高久文麿編	医学書院(東京)	1203-1206	2002
田中良哉	その他の抗リウマチ薬	内科医が使う薬の副作用・相互作用	「medicina」編集委員会編	医学書院(東京)	324-325	2002
田中良哉	診断	新しい診断と治療のABC: 関節リウマチ	宮坂信之編	最新医学社(東京)	109-115	2002
田中良哉	細胞性免疫機能	免疫学コア講義	木本雅夫、坂口薫雄、山下優毅編	南山堂(東京)	209-210	2002
田中良哉	NK細胞活性	免疫学コア講義	木本雅夫、坂口薫雄、山下優毅編	南山堂(東京)	210-211	2002
田中良哉	好中球機能、食菌能	免疫学コア講義	木本雅夫、坂口薫雄、山下優毅編	南山堂(東京)	211-213	2002
田中良哉	アレルギー検査	免疫学コア講義	木本雅夫、坂口薫雄、山下優毅編	南山堂(東京)	213-216	2002
田中良哉	移植免疫(血液型、HLAタイピング)	免疫学コア講義	木本雅夫、坂口薫雄、山下優毅編	南山堂(東京)	216-218	2002
田中良哉	腫瘍マーカー	免疫学コア講義	木本雅夫、坂口薫雄、山下優毅編	南山堂(東京)	218-220	2002
田中良哉	全身性エリテマトーデスとサイトカイン	新・膠原病: 診断と治療の最新のポイント; 皮膚から内臓へ	竹原和彦、桑名正隆、宮地良樹編	診断と治療社(東京)	14-15	2002
田中良哉	慢性関節リウマチとサイトカイン	新・膠原病: 診断と治療の最新のポイント; 皮膚から内臓へ	竹原和彦、桑名正隆、宮地良樹編	診断と治療社(東京)	18-19	2002
田中良哉	膠原病と接着分子	新・膠原病: 診断と治療の最新のポイント; 皮膚から内臓へ	竹原和彦、桑名正隆、宮地良樹編	診断と治療社(東京)	28-29	2002
田中良哉	関節リウマチ	今日の治療指針2003年版	山口徹、北原光夫	医学書院(東京)	540-542	2003
田中良哉	関節リウマチ	アレルギー・リウマチ・膠原病の最新医療	狩野庄吾、中川武正	先端医療技術研究所(東京)	267-272	2003
田中良哉	総論(課題と展望)	アレルギー・リウマチ・膠原病の最新医療	狩野庄吾、中川武正	先端医療技術研究所(東京)	382-387	2003

著者氏名	論文タイトル名	書籍名	書籍全体の編集者名	出版社名(出版地)	ページ	出版年
田中良哉	血清反応陰性脊椎関節炎	内科学第8版	杉本恒明, 小俣政男, 水野美邦	朝倉書店(東京)	1224-1226	2003
田中良哉	結節性多発動脈硬化と類縁疾患	外来診療の全て	高久史磨	メジカルビュー社(東京)	896-899	2003
田中良哉	可溶性VCAM-1	新版検査項辞苑	櫻林郁之介, 熊坂一成	医歯薬出版(東京)	914	2003
田中良哉	可溶性E-セレクトイン	新版検査項辞苑	櫻林郁之介, 熊坂一成	医歯薬出版(東京)	915	2003
田中良哉	可溶性P-セレクトイン	新版検査項辞苑	櫻林郁之介, 熊坂一成	医歯薬出版(東京)	916	2003
田中良哉	可溶性L-セレクトイン	新版検査項辞苑	櫻林郁之介, 熊坂一成	医歯薬出版(東京)	917	2003
田中良哉	可溶性VCAM-セレクトイン	新版検査項辞苑	櫻林郁之介, 熊坂一成	医歯薬出版(東京)	918	2003
田中良哉 辻村静代 河野公俊	関節リウマチと薬剤抵抗性の獲得機序とその制御	Molecular Medicine (臨時増刊号) 免疫2004	岸本忠三	中山書店(東京)	343-349	2003
田中良哉	機能性膜分子とCD分類, サイトカイン	内科学(第2版)	黒川清, 松澤佑次, 北徹, 貫和敏, 永井良, 三千葉勉, 井廻道夫, 岡芳知	文光堂(東京)	30-35	2003
田中良哉	炎症細胞遊走の分子機構	呼吸器	工藤翔二, 土屋了介, 金沢実, 大田健	中外医学社(東京)	22-27	2004
田中良哉	細胞接着分子	骨粗鬆症—基礎・臨床研究の新しいパラダイム	折茂肇	日本臨床社(大阪)	125-130	2004
田中良哉	膠原病・リウマチ性疾患に起因する骨粗鬆症	骨粗鬆症—基礎・臨床研究の新しいパラダイム	折茂肇	日本臨床社(大阪)	677-682	2004
田中良哉	関節リウマチ	ステロイド骨粗鬆症の治療マニュアル	名和田新	ライフサイエンス出版(東京)	38-45	2004
田中良哉	炎症反応(赤沈, CRP)	リウマチ膠原病診療チェックリスト	三森経世	文光堂(東京)	115-118	2004
田中良哉	白血球-内皮細胞間接着の分子機構	プロテアーゼインヒビター基礎編	吉川敏一	診断と治療社(東京)	198-203	2004
田中良哉	免疫疾患とT細胞の役割	内科診療Q&A『免疫疾患』	永野允, 原田尚, 藤澤冽, 永野志朗	六法出版(東京)	46-49	2004
田中良哉	関節リウマチに対する抗TNF α 抗体療法の有用性と問題点	サイトカイン - state of arts	宮坂信之, 宮島篤	医歯薬出版(東京)	345-348	2004
田中良哉	多発性筋炎/皮膚筋炎	実地医家のためのステロイド薬の上手な使い方	河合眞一	永井書店(大阪)	75-81	2004
田中良哉	血管炎	リウマチ入門第12版	日本リウマチ学会	日本リウマチ学会(東京)	451-483	2004
田中良哉	関節リウマチ(悪性関節リウマチを含む)	法研	高久文磨, 猿田享男, 北村惣一郎, 福井次夫	家庭医学大百科(東京)	2907-2911	2004
田中良哉	CD20抗体の自己免疫疾患の治療への応用	免疫2005	岸本忠三	中山書店(東京)	400-406	2004

著者氏名	論文タイトル名	書籍名	書籍全体の編集者名	出版社名(出版地)	ページ	出版年
田中良哉、藤井幸一	炎症と修復	21世紀の胃の炎症学	浅香正博	メディカルレビュー社(大阪)	301-310	2004
田中良哉	成人発症スチル病	今日の治療指針 2005年版	山口徹、北原光夫	医学書院(東京)	586-587	2005
田中良哉	抗CD20抗体	関節リウマチ: 成因研究から治療の新時代へ	宮坂信之	日本臨床社(大阪)	544-548	2005
田中良哉	ステロイド薬	関節リウマチ: 成因研究から治療の新時代へ	宮坂信之	日本臨床社(大阪)	468-472	2005
梅原久範	リウマチ専門医試験 例題と解説	リウマチ専門医試験 例題と解説		日本リウマチ学会(東京)		2003
梅原久範	ケモカインと接着分子	内科診療Q&A			12	2004
梅原久範	全身性強皮症	リウマチ・膠原病診療チェックリスト	三森経世	文光堂(東京)	167-173	2004
Fehervari, Z., and Sakaguchi, S	Regulatory T cells.	In "Measuring Immunity" eds	M. T. Lotze and A. W. Thompson,	Elsevier	322-335	2005
Sakaguchi, N., Sakaguchi, S.	Altered thymic T-cell selection due to a spontaneous mutation of the ZAP-70 gene causes autoimmune arthritis.	Immunology 2004	Medimond S.r.l	Bologna, Italy	239-242	2004
Setoguchi, R., Sakaguchi, S	A crucial role of IL-2 in the homeostatic maintenance of CD25+CD4+ regulatory T cells.	Immunology 2004	Medimond S.r.l	Bologna, Italy	341-344	2004
Ono, M., Sakaguchi, S.	Induction of fatal autoimmune myocarditis and other autoimmune diseases in mice by depleting Foxp3-expressing T cells.	Immunology 2004	Medimond S.r.l	Bologna, Italy	193-195	2004
高柳 広	「アレルギー・リウマチ・膠原病の最新医療」 破骨細胞活性化の分子機構	先端医療シリーズ19・アレルギー・リウマチ・膠原病	狩野庄吾、中川武正	先端医療技術研究所(東京)	235-241	2003
高柳 広	第一章C11滑膜、第一章G筋	整形外科クルズス改訂第4版	津山直一 他	南江堂(東京)	42-43 63-65	2003
高柳 広	RANKLによる破骨細胞分化制御	Annual Review 2004 免疫	奥村康、平野俊夫、佐藤昇志	中外医学社(東京)	143-153	2004
亀田秀人、竹内勤	膠原病肺病変に対するシクロスポリン	Annual Review 呼吸器	工藤翔二、土屋了介、金沢実、大田健	中外医学社(東京)	234-239	2004
亀田秀人、竹内勤	多発性筋炎/皮膚筋炎	GUIDELINE 膠原病・リウマチ -治療ガイドラインをどう読むか-	小池隆夫、住田孝之	診断と治療社(東京)	50-57	2005
津坂憲政、竹内勤	分子生物学からみた炎症	21世紀の胃の炎症学	浅香正博	メディカルレビュー社(東京)	209-217	2005
Nishimoto N, Yoshizaki K, Kishimoto T.	Interleukin-6.	Targeted Therapy in Rheumatology	Smolen J, Lipsky P, eds.	Martin Dunitz(London)	231-241	2004

著者氏名	論文タイトル名	書籍名	書籍全体の編集者名	出版社名(出版地)	ページ	出版年
Nishimoto N, Kishimoto T.	Is IL-6 a therapeutic target?	Progress in Inflammation Research.	Van den Berg W. B, Miossec P, eds.	Birkhauser Verlag (Basel)	89-106	2004
野島美久	免疫複合体	透析患者の検査値の読み方	黒川清	日本メディカルセンター (東京)	241-242	2002
野島美久	膠原病肺病変に対するシクロスポリン	内科学レビュー	酒井紀 他	総合医学社 (東京)	294-298	2003
野島美久	ネフローゼ症候群	フォローアップ検査ガイド	北村聖 他	医学書院 (東京)	360-363	2003
野島美久	急速進行性腎炎	フォローアップ検査ガイド	北村聖 他	医学書院 (東京)	358-360	2003
野島美久	全身性エリテマトーデス	インフォームドコンセントのための図解シリーズ	竹原和彦、近藤啓文	医薬ジャーナル社 (東京)	38-43	2004
野島美久	免疫血清検査	臨床検査データブック	高久史磨	医学書院 (東京)	377-386	2005
針谷正祥	LIGHT (TNFスーパーファミリーメンバー)	サイトカイン・ケモカインのすべてー基礎から最新情報までー	笠倉新平、松島網治	日本医学館 (東京)	70-78	2004
Oishi, I., Minami, Y.	Functional analysis of Ror and Wnt signaling.	Genetically Engineered Mice.		Iowa State University Press. (I A)	in press	2005
加藤菜穂子, 南康博	細胞周期調節による癌の治療	分子標的療法の基礎と臨床		篠原出版 (東京)	印刷中	2005

雑誌

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Toda Y, Tsukada J, Misago M, Kominato Y, Auron PE, Tanaka Y	Autocrine induction of the human prointerleukin 1 β gene promoter by interleukin 1 β in monocytes.	J Immunol	168	1984-1991	2002
Iida T, Mine S, Fujimoto H, Suzuki K, Minami Y, Tanaka Y	Hypoxia-inducible factor-1 α induces cell cycle arrest of endothelial cells.	Genes to Cells	7	143-149	2002
Tanaka Y, Nakayama S, Fujimoto H, Okada Y, Umehara H, Kataoka T, Minami Y.	H-Ras/mitogen-activated protein kinase pathway inhibits integrin-mediated adhesion and induces apoptosis in osteoblasts.	J Biol Chem	277	21446-21452	2002
Okada Y, Morimoto I, Ura K, Watanabe K, Eto S, Kumegawa M, Raisz L, Pilbeam C, Tanaka Y.	Cell-to-cell adhesion via intercellular adhesion molecule-1 and leukocyte function-associated antigen-1 pathway is involved in 1 α ,25(OH) $_2$ D $_3$, PTH and IL-1 β -induced osteoclast differentiation and bone resorption.	Endocrine J	49	483-495	2002
Kamizono J, Okada Y, Shirahata A, Tanaka Y.	Bisphosphonate induces remission of refractory osteolysis in Langerhans cell histiocytosis.	J Bone Miner Res	17	1926-1928	2002
Yasuda M, Nakano K, Yasumoto K, Tanaka Y.	CD44: functional relevance to inflammation and malignancy.	Histol Histopathol	17	945-950	2002
Mine S, Tabata T, Wada Y, Fujisaki T, Iida T, Noguchi N, Niki E, Kodama T, Tanaka Y	Oxidized low density lipoprotein-induced LFA-1-dependent adhesion and transmigration of monocytes via the protein kinase C pathway.	Atherosclerosis	160	281-288	2002
Yamamoto S, Morimoto I, Tanaka Y, Yanagihara N, Eto S.	The mutual regulation of arginine-vasopressin and PTHrP secretion in dissociated supraoptic neurons.	Endocrinology	143	1521-1529	2002
Kaizu K, Uruu K, Hashimoto O, Mizobe T, Takagi I, Ito A, Suzuta K, Qie YL, Miyamoto H, Tanaka Y.	Clinical profiles and outcomes of end-stage renal failure patients with late initiation of renal replacement therapy based on uremic symptoms under intensive renoprotective therapies.	Am J Nephrology	22	521-531	2002
Arao T, Okada Y, Tanikawa T, Inatomi H, Shuin T, Fujihira T, Yamashita H, Tanaka Y:	A case of von Hippel-Lindau disease with bilateral pheochromocytoma, renal cell carcinoma, pelvic tumor, spinal hemangioblastoma and primary hyperparathyroidism.	Endocrine J	49	181-188	2002
Amada S, Mine S, Fujisaki T, Ohnari N, Eto S, Tanaka Y:	Hepatic sarcoidosis associated with chronic hepatitis C.	J Gastroenterol	37	564-570	2002
徳木美貴子, 齋藤和義, 中山真吾, 中野和久, 辻村静代, 大田俊行, 田中良哉.	多剤抵抗性関節リウマチへのシクロホスファミドパルス療法の効果.	九州リウマチ	21	7-11	2002
田中 良哉	CD18, E-セレクトインダブルノックアウトマウスに於ける免疫不全.	臨床免疫	37	101-106	2002
田中良哉, 辻村静代, 河野公俊.	膠原病に於けるステロイド抵抗性の分子機構とその対策.	内科	89	216-220	2002
中山真吾, 麻生めぐみ, 田中良哉	アクタリット追加併用療法.	リウマチ科	27	33-38	2002
田中 良哉	ケモカインと疾患	産業医科大学学会雑誌	24	27-35	2002
田中良哉	骨壊死とICAM-1およびHIF-1遺伝子.	整形・災害外科	45	168-169	2002
田中良哉, 辻村静代, 齋藤和義, 河野公俊.	膠原病・リウマチ性疾患に於けるシクロホスフィン療法の理論と実際.	日本臨床免疫学会雑誌	25	110-114	2002
神田加壽子, 岡田洋右, 谷川隆久, 河野智恵, 福島あゆみ, 三澤晴雄, 村上敦子, 森田恵美子, 田中良哉	高血糖性昏睡及び前昏睡による入院症例についての臨床的検討.	Diabetes Frontier	13	540-543	2002
田中良哉, 岡田洋右, 塚田順一.	ATLに伴う高カルシウム血症の発症機序と病態.	CLINICAL CALCIUM	12	530-533	2002
田中良哉.	シェーグレン症候群.	治療	84	1785-1789	2002
田中良哉.	結節性多発動脈炎と類微鏡的多発血管炎.	総合臨床	51	2140-2144	2002

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田中良哉	B細胞表面免疫グロブリン	臨床医	28	s1178-s1190	2002
藤本浩子, 米田修, 南康博, 田中良哉	接着分子と細胞動態・細胞特性: リンパ球を中心として	臨床免疫	37	744-750	2002
齋藤和義, 田中良哉	膠原病疾患に於けるカリニ肺炎・膠原病疾患に併発するカリニ症候群の臨床上の留意点, PCR法によるDNA診断の臨床応用	日本臨床免疫学会雑誌	25	310-318	2002
田中良哉	免疫シグナルと骨芽細胞	Medical Science Digest	28	442-445	2002
田中良哉	炎症性疾患・血液疾患による骨粗鬆症	Medical Practice	19	1673-1676	2002
田中良哉	シクロスポリン療法の理論と実際	日本臨床	60	2345-2350	2002
岡田洋右, 田中良哉	抗炎症治療の清膿病変に対する効果	腎と骨代謝	16	51-58	2002
河野智恵, 岡田洋右, 谷川隆久, 福島あゆみ, 三澤晴雄, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	臨床症状より褐色細胞腫が疑われた骨髄脂肪腫の一例	臨床と研究	79	445-448	2002
河野智恵, 岡田洋右, 谷川隆久, 福島あゆみ, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	経口糖尿病薬によるStevens-Johnson syndromeが疑われた糖尿病の2症例	Diabetes Frontier	13	251-254	2002
谷川隆久, 岡田洋右, 新生忠司, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	肥満を呈したバセドウ病合併の1型糖尿病(緩徐進行型)の1例	糖尿病	45	253-256	2002
辻村静代, 齋藤和義, 中山田真吾, 中野和久, 徳永美貴子, 大田俊行, 田中良哉	シクロホスファミドパルス療法が奏功したCNSループスと抗リン脂質抗体症候群の1症例	九州リウマチ	21	91-98	2002
是木一也, 岡田洋右, 藤平隆司, 谷川隆久, 江藤澄哉, 一矢有一, 田中良哉	頻回に再発する無痛性甲状腺炎に対して131Iによる放射線甲状腺破壊術を施行した1症例	ホルモンと臨床	50	503-505	2002
中山田真吾, 齋藤和義, 中塚啓輔, 中野和久, 徳永美貴子, 辻村静代, 大田俊行, 田中良哉	関節リウマチに併発した膀胱アミロイド症の1症例	リウマチ	42	618-623	2002
村上敦子, 岡田洋右, 福島あゆみ, 三澤晴雄, 河野智恵, 谷川隆久, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	腹部激痛を伴う尿閉, 両側水腎症をきたした糖尿病性神経因性膀胱の1例	ブラクティス	19	425-429	2002
飯田武, 岡田洋右, 福島あゆみ, 河野智恵, 三澤晴雄, 太幡敬洋, 谷川隆久, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	神経因性膀胱, 腎障害, 前立腺肥大を有し, NSAID投与後に急性腎不全をきたした2型糖尿病の1例	臨床と研究	79	1391-1394	2002
村上敦子, 岡田洋右, 福島あゆみ, 三澤晴雄, 河野智恵, 谷川隆久, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	重症の低血糖発作を来たしたインスリン受容体異常症B型の1例	ホルモンと臨床	50	s134-s139	2002
竹政啓子, 齋藤和義, 中山田真吾, 金澤保, 田中良哉	移動性皮下腫瘍, CTにて多発性肝内低吸収域を認めたウエステルマン肺吸虫の1例	感染症学会雑誌	76	594-599	2002
香妻妙子, 岡田洋右, 谷川隆久, 小川亮介, 塚田順一, 瓜生康平, 田中良哉	維持透析中に高カルシウム血症を呈し, リンパ節腫脹を契機に診断されたサルコイドーシスの1症例	CLINICAL CALCIUM	12	126-131	2002
河野智恵, 岡田洋右, 谷川隆久, 福島あゆみ, 三澤晴雄, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	Hypercalcemic crisisをきたした原発性甲状腺機能亢進症と甲状腺機能亢進症を併発した例	ホルモンと臨床	50	921-925	2002
福島あゆみ, 岡田洋右, 谷川隆久, 河野智恵, 三澤晴雄, 神田加壽子, 森田恵美子, 毛利文彦, 塚田順一, 田中良哉	一過性に視床下部性副腎機能低下症を来たした急性骨髄性白血病の1例	ホルモンと臨床	50	1113-1117	2002
森田恵美子, 岡田洋右, 西田啓子, 神田加壽子, 新生忠司, 谷川隆久, 田中良哉	短期間に内因性インスリン分泌の著明な変動を認めた2型糖尿病の1例	ブラクティス	19	573-575	2002
神田加壽子, 岡田洋右, 新生忠司, 西田啓子, 谷川隆久, 森田恵美子, 田中良哉	経過中にベーチェット病を併発したインスリン抵抗性著明な糖尿病の1例	糖尿病	45	767-771	2002
三澤晴雄, 岡田洋右, 神田加壽子, 谷川隆久, 福島あゆみ, 山根聖司, 河野智恵, 村上敦子, 森田恵美子, 田中良哉	血糖コントロール改善後も高ケトン血症が観察された2型糖尿病の2例	ブラクティス	19	691-695	2002
神田加壽子, 岡田洋右, 西田啓子, 新生忠司, 谷川隆久, 森田恵美子, 田中良哉	2型糖尿病経過中, 糖尿病性昏睡を伴う非自己免疫性劇症1型糖尿病の併発が疑われた1例	糖尿病	45	407-410	2002
谷川隆久, 岡田洋右, 是木一也, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	甲状腺ホルモン自己抗体の存在によりfree T3およびfree T4が見掛け上高値を示した橋本病による甲状腺機能低下症の1例	JUOEH	24	423-427	2002

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
岡田洋右, 谷川隆久, 井口信夫, 福島あゆみ, 三澤晴雄, 河野智恵, 村上敦子, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	少量の酢酸オクトレオチド1回投与にて長期間低血糖が消失したインスリンノーマの一例.	糖尿病	45	815-820	2002
三澤晴雄, 岡田洋右, 谷川隆久, 福島あゆみ, 河野智恵, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	^{99m} Tcのみ取り込まれた原発性副甲状腺機能亢進症の一例	日本内分泌学会雑誌	78	110-113	2002
谷川隆久, 岡田洋右, 新生忠司, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	PTL加療中のバセドウ病の経過中に中枢性尿崩症、MPO-ANCA陽性、Sweet病を併発した1症例.	ホルモンと臨床	50	s49-s53	2002
Tanaka Y, Okada Y, Nakamura T	Inter- and intracellular signaling in secondary osteoporosis	Bone Miner Metab	21	61-66	2003
Okada Y, Pilbeam C, Raisz L, Tanaka Y.	Role for cyclooxygenase-2 in bone resorption.	JUOEH	25	185-195	2003
Tamura M, Osajima A, Nakayamada S, Anai H, Kabashima N, Kanegai K, Ota T, Tanaka Y, Nakashima Y	High glucose levels inhibit focal adhesion kinase-mediated wound healing of rat peritoneal mesothelial cells	Kidney Int	63	722-731	2003
Fujii Y, Fujii K, Nakano K, Tanaka Y	Crosslinking of CD44 on human osteoblastic cells upregulates ICAM-1 and VCAM-1	FEBS Letters	539	45-50	2003
Tabata T, Mine S, Kawahara C, Okada Y, Tanaka Y	Monocyte chemoattractant protein-1 induces scavenger receptor expression and monocyte differentiation into foam cells	Biochem Biophys Res Commun	305	380-383	2003
Nakayamada S, Saito K, Fujii K, Yasuda M, Tamura M, Tanaka Y.	β 1 integrin-mediated signaling induces ICAM-1 and Fas and Fas-mediated apoptosis of rheumatoid synovial cells.	Arthritis Rheum	48	1239-1248	2003
Nakazawa T, Koshiba M, Kosaka H, Tsuji C, Nakamachi Y, Saura R, Kurosaka M, Tanaka Y, Kumagai S.	Adenosine downregulates cytokine-induced expression of intercellular adhesion molecule-1 on rheumatoid synovial fibroblasts independently of adenosine receptor signaling.	Drug Develop Res	58	368-376	2003
Mine S, Fujisaki T, Kawahara C, Tabata T, Iida I, Yasuda M, Yoneda T, Tanaka Y	Hepatocyte growth factor enhances adhesion of breast cancer cells to endothelial cells in vitro through up-regulation of CD44	Exp Cell Res	288	189-197	2003
Yamamoto A, Fukuda A, Seto H, Miyazaki T, Kadono Y, Sawada Y, Nakamura I, Katagiri H, Asano T, Tanaka Y, Oda H, Nakamura K, Tanaka S	Suppression of arthritic bone destruction by adenovirus-mediated dominant-negative Ras gene transfer to synoviocytes and osteoclasts	Arthritis Rheum	48	2682-2692	2003
Nakayamada S, Okada Y, Saito K, Tamura M, Tanaka Y	β 1 Integrin/Focal Adhesion Kinase-mediated Signaling Induces Intercellular Adhesion Molecule 1 and Receptor Activator of Nuclear Factor κ B Ligand on Osteoblasts and Osteoclast Maturation	J Biol Chem	278	45368-45374	2003
Nakayamada S, Saito K, Nakatsuka K, Nakano K, Tokunaga M, Sawamukai N, Tujimura S, Nawata M, Tanaka Y	Efficacy of mizoribine treatment in patients with Sjogren's syndrome: an open pilot trial	Mod Rheumatol	13	339-345	2003
Fukushima A, Okada Y, Tanikawa T, Kawano C, Misawa H, Kanda K, Morita E, Sasano H, Tanaka Y.	Virilizing adrenocortical adenoma with Cushing's syndrome, thyroid papillary carcinoma and hypergastrinemia in a middle-aged woman.	Endocrine J	50	179-187	2003
Saito K, Nawata M, Nakayamada S, Tokunaga M, Tsukada J, Tanaka Y	Successful treatment with anti-CD20 monoclonal antibody (rituximab) of life-threatening refractory systemic lupus erythematosus with renal and central nervous system involvement	Lupus	12	798-800	2003
Nakatsuka K, Saito K, Kohshi K, Konda I, Tanaka Y	Severe skin ulceration associated with Wegener's granulomatosis: Successful treatment with hyperbaric oxygen and prostaglandin E1	Mod Rheumatol	13	346-349	2003
三澤晴雄, 岡田洋右, 神田加壽子, 福島あゆみ, 河野智恵, 谷川隆久, 森田恵美子, 田中良哉	低血糖症の成因による病型分類の試み	臨床と研究	80	295-298	2003
谷川隆久, 安部治彦, 岡田洋右, 森田恵美子, 中島康秀, 田中良哉	受動的立位負荷時の心拍変動解析を用いた糖尿病患者における自律神経機能異常の検出	心臓	35	S1-S3	2003
中山田真吾, 辻村静代, 齋藤和義, 田中良哉	DWARD併用療法の短期的・長期的効果	臨床リウマチ	15	207-212	2003

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田中良哉、足立智子、中山田真吾、中野和久、徳永美貴子、辻村静代、澤向範文、名和田雅夫、中塚敬輔、齋藤和義	最悪のリウマチ医療のための役割分担—第25回九州リウマチ学会全国アンケートより—	九州リウマチ	23	33-38	2003
峯信一郎、太幡敬洋、飯田剛、岡田洋右、田中良哉	クエン酸モサブリド併用による全大腸内視鏡検査:前処置法の検討	総合臨床	52	3324-3325	2003
峯信一郎、岡田洋右、瓜生康平、森田恵美子、田中良哉	糖尿病合併肝機能障害患者に対するナテグリニド治療の可能性	Diabetes Frontier	14	775-778	2003
田中良哉	リウマトイド血管炎	診断と治療	91	839-844	2003
田中良哉	SLE一病態に応じた急性期治療と維持治療の実際	Medical Practice	20	568-576	2003
岡田洋右、田中良哉	欧米の大規模臨床試験 (PPとDECODE) から学ぶ	プラクティス	20	159-165	2003
田中良哉、岡田洋右	ステロイド性骨粗鬆症の予防の方策について	CLINICAL CALCIUM	13	734-738	2003
田中良哉	注射用ステロイド剤のパルス療法	薬局	54	1963-1969	2003
田中良哉	炎症細胞の遊走機序	アレルギー	52	477-480	2003
田中良哉	炎症細胞の遊走機序	アレルギー科	15	529-536	2003
田中良哉、中塚敬輔、齋藤和義	膠原病・リウマチ性疾患に伴う皮膚腫瘍	皮膚腫瘍CURE	3	1-6	2003
田中良哉	白血球-内皮細胞間接着の分子機構	医薬の門	43	442-447	2003
齋藤和義、田中良哉	痛風と骨代謝におけるサイトカインの関与	高尿酸血症と痛風	11	196-202	2003
田中良哉	ステロイド性骨粗鬆症	アレルギー・免疫	10	1471-1478	2003
田中良哉	膠原病検査の進歩と診断・治療への応用サイトカイン・サイトカインレセプター	日本内科学会雑誌	92	1969-1976	2003
田中良哉	全身性エリテマトーデス	今月の治療	11	1238-1245	2003
田中良哉	生物製剤の使い方	Mebio	20	46-52	2003
田中良哉	リウマチ・膠原病	内科	92	1143-1148	2003
田中良哉、齋藤和義、名和田雅夫、徳永美貴子、塚田順一	抗CD20抗体	臨床免疫	40	536-543	2003
安田学、宗哲哉、水上真紀子、市来嘉伸、菅谷将一、宗知子、花岡武志、竹之山光弘、杉尾憲二、田中良哉、安元公正	肺癌浸潤過程における接着分子の関与とその情報伝達による免疫回避機構の解析	Biotherapy	17	131-138	2003
田中良哉	診療・検査結果からリウマチ・膠原病を見逃さないために	臨床医	29	2024-2030	2003
神田加壽子、岡田洋右、谷川隆久、村上敦子、河野智恵、福島あゆみ、三澤晴雄、森田恵美子、田中良哉	経管栄養が原因で低血糖発作を反復した1例	プラクティス	20	85-88	2003
河原智恵、岡田洋右、谷川隆久、福島あゆみ、三澤晴雄、神田加壽子、森田恵美子、田中良哉	TSA b と TSA a の変移により甲状腺機能の変動を反復した1症例	総合臨床	52	1609-1612	2003
中野和久、齋藤和義、中塚敬輔、中山田真吾、徳永美貴子、辻村静代、大田俊行、田中良哉	強皮症に併発した激しい胃・腸管浮腫に高気圧酸素療法が有効した1症例	九州リウマチ	22	81-86	2003
中山田真吾、齋藤和義、辻村静代、中塚敬輔、中野和久、徳永美貴子、田中良哉、大田俊行	急速進行性の中枢神経症状を呈した Sjogren 症候群の1例	九州リウマチ	22	87-92	2003
神田加壽子、岡田洋右、西田啓子、谷川隆久、新生忠司、森田恵美子、田中良哉	高度の自律神経障害を伴い全身浮腫時に呼吸停止をきたした1型糖尿病の1例	糖尿病	46	229-233	2003
神田加壽子、岡田洋右、谷川隆久、福島あゆみ、河原智恵、三澤晴雄、森田恵美子、田中良哉	糖尿病ケトアシドーシス発症時に2型糖尿病と診断された2症例の臨床経過についての検討	臨床と研究	80	737-740	2003
福島あゆみ、岡田洋右、谷川隆久、河野智恵、三澤晴雄、中井英徳、廣瀬暁子、神田加壽子、森田恵美子、田中良哉	インスリンノーマとの鑑別に苦慮した原因不明の低血糖発作を頻発した1例	糖尿病	46	311-316	2003

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中井美穂、岡田洋右、谷川隆久、廣瀬 暁子、福島あゆみ、三澤晴雄、河原智 恵、神田加壽子、森田恵美子、田中良 哉	下垂体機能低下症から一部機能回復し、自己免疫性下垂 体炎と考えられた1例	臨床と研究	80	1107-1111	2003
谷川隆久、岡田洋右、福島あゆみ、三澤 晴雄、河原智恵、神田加壽子、森田恵 美子、田中良哉	メチマゾールによって汎血球減少を来したバセドウ病 の1例	診断と治療	91	1080-1082	2003
岡田洋右、廣瀬暁子、神田加壽子、福 島あゆみ、河原智恵、中井美穂、三澤晴 雄、谷川隆久、森田恵美子、田中良哉	糖尿病性解除によりSU薬からナテグリニドへの変更が可能 となった3交代性就労者の一例	臨床と研究	80	1385-1388	2003
福島あゆみ、岡田洋右、谷川隆久、 河原智恵、三澤晴雄、中井美穂、廣 瀬暁子、神田加壽子、森田恵美子、 田中良哉	頸体尾部広汎切除後も反復する重篤な低血糖発作にボグ リボースと夜間補食が有効した1例	ホルモンと臨床	51	S161-S167	2003
谷川隆久、安部晴彦、岡田洋右、森 田恵美子、中島康秀、田中良哉	受動的立位負荷時の心拍変動解析を用いた糖尿病患者に 於ける心臓自律神経機能異常の検出	心臓	35	S1-S3	2003
村上敦子、岡田洋右、福島あゆみ、 三澤晴雄、河野智恵、谷川隆久、神 田加壽子、森田恵美子、田中良哉	全身性エリテマトーデスに合併し、重症の低血糖発作を 来したインスリン受容体異常症B型の一例	糖尿病	46	527-532	2003
中井美穂、岡田洋右、谷川隆久、神 田加壽子、森田恵美子、田中良哉	Hypothyroid Graves' Diseaseを併発しTSAb著明高値 を示した橋本病の一例	産業医科大学雑誌	25	333-339	2003
河原智恵、岡田洋右、谷川隆久、廣 瀬暁子、福島あゆみ、中井美穂、三 澤晴雄、神田加壽子、森田恵美子、 田中良哉	活性型VitD3軟膏にて高Ca血症と著明な高Na血症を来した 尋常性乾癬の一例	日本内分泌学会雑誌	79	S65-S67	2003
三澤晴雄、岡田洋右、谷川隆久、福 島あゆみ、河野智恵、神田加壽子、 森田恵美子、田中良哉	^{99m} Tcのみ取り込みを認めた原発性副甲状腺機能亢進症 の一例	診断と治療	91	1423-1426	2003
中塚敬輔、齋藤和義、中山真喜、 中野和久、徳永美貴子、辻村静代、 田中良哉	bFGF局所塗布が奏効した膠原病関連慢性皮膚潰瘍の2 症例	九州リウマチ	23	110-116	2003
神田加壽子、岡田洋右、谷川隆久、 河原智恵、中井美穂、三澤晴雄、福 島あゆみ、廣瀬暁子、森田恵美子、 田中良哉	clear cell adenomaによる原発性副甲状腺機能亢進症の 一例	日本内分泌学会雑誌	79	S55-S58	2003
徳永美貴子、齋藤和義、中塚敬輔、 中山真喜、中野和久、辻村静代、 大田俊行、田中良哉	Systemic lupus erythematosusに伴うステロイド抵抗 性溶血性貧血にシクロホスファミドパルス療法が奏効し た2症例	日本臨床免疫学会雑誌	26	304-309	2003
廣瀬暁子、岡田洋右、神田加壽子、 谷川隆久、福島あゆみ、森田恵美 子、村上敦子、田中良哉	抜歯後に重症の非クロストリジウム性顎部壊死性筋膜炎 を来した2型糖尿病の1例	糖尿病	46	807-811	2003
谷川隆久、岡田洋右、廣瀬暁子、 福島あゆみ、三澤晴雄、神田加壽 子、森田恵美子、田中良哉	TRAb・TSAb陽性のバセドウ病から短期間にTSAb陽性の 甲状腺機能低下症に移行した1例	臨床と研究	80	2052-2054	2003
三澤晴雄、岡田洋右、谷川隆久、福 島あゆみ、河原智恵、神田加壽子、 森田恵美子、井口信夫、田中良哉	少量の酢酸オクトレオチド1回投与にて長期間低血糖 が消失したインスリンノーマの一例	ホルモンと臨床	51	S144-S148	2003
Okada Y, Tanaka Y.	Immune signals in the context of secondary osteoporosis.	Histol Histopathol	19	863-866	2004
Nakayama S, Okada S, Saito K, Tanaka Y.	Etidronate prevents high-dose glucocorticoid-induced bone loss in premenopausal individuals with systemic autoimmune diseases.	Rheumatol	31	163-166	2004
Saito K, Nakayama S, Nakano K, Tokunaga M, Tsujimura S, Nakatsuka K, Adechi T, Tanaka Y.	Detection of Pneumocystis carinii by DNA amplification in patients with connective tissue diseases: Reevaluation of clinical features of P. carinii pneumonia in rheumatic diseases.	Rheumatology	43	479-485	2004
Okada Y, Tsukada J, Nakano K, Tonai S, Mine S, Tanaka Y.	Macrophage inflammatory protein-1 α induces hypercalcemia in adult T-cell leukemia.	J Bone Miner Res	19	1105-1111	2004
Nakano K, Okada Y, Saito K, Tanaka Y.	Fibroblast growth factor-2 induces receptor activator of nuclear factor kappa B ligand expression and osteoclast maturation by binding to heparan sulfate proteoglycan on rheumatoid synovial fibroblasts.	Arthritis Rheum	50	2450-2458	2004
Tsujimura S, Saito K, Nakayama S, Nakano K, Tsukada J, Kohno K, Tanaka Y.	Transcriptional regulation of multidrug resistance-1 gene by interleukin-2 in lymphocytes.	Genes Cells	9	1265-1273	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kato N, Fujimoto H, Yoda A, Oishi I, Matsuura N, Kondo T, Tsukada J, Tanaka Y, Imamura M, Minami Y.	Regulation of Chk2 gene expression in lymphoid malignancies: involvement of epigenetic mechanisms in Hodgkin's lymphoma cell lines.	Cell Death Differ	11	S153-S161	2004
Ehara Y, Sakurai D, Tsuchiya N, Nakano K, Tanaka Y, Yamaguchi A, Tokunaga K	Follistatin-related protein gene (FRP) is expressed in the synovial tissues of rheumatoid arthritis, but its polymorphisms are not associated with genetic susceptibility.	Clin Exp Rheumatol	22	707-712	2004
Tanikawa T, Okada Y, Azuma T, Fukushima A, Kawahara C, Tanaka Y.	Adult-onset idiopathic progressive acro-osteolysis with proximal symphalangism.	J Bone Miner Res	19	165-167	2004
Kawahara C, Okada Y, Tanikawa T, Fukushima A, Misawa H, Tanaka Y.	Severe hypercalcemia and hypernatremia associated with calcipotriol for treatment of psoriasis.	J Bone Miner Metabolism	22	159-162	2004
Kanda K, Okada Y, Tanikawa T, Morita E, Tsurudome Y, Konishi T, Tanaka Y.	A rare case of primary hyperparathyroidism with clear cell adenoma.	Endocrine J	51	207-212	2004
Higashi T, Tsukada J, Kato C, Iwashige A, Mizobe T, Machida S, Morimoto H, Ogawa R, Toda T, Tanaka Y.	Imatinib mesylate-sensitive blast crisis immediately after discontinuation of imatinib mesylate therapy in chronic myelogenous leukemia.	Am J Hematol	76	275-278	2004
Tokunaga M, Fujii K, Saito K, Nakayamada S, Tsujimura S, Nawata M, Tanaka Y.	Down-regulation of CD40 and CD80 on B cells in patients with life-threatening systemic lupus erythematosus after successful treatment with rituximab.	Rheumatology		in press	
Tsujimura S, Saito K, Tokunaga M, Nakatsuka K, Nakayamada S, Nakano K, Tanaka Y.	Overcoming treatment unresponsiveness mediated by P-glycoprotein overexpression on lymphocytes in refractory active systemic lupus erythematosus.	Mod Rheumatol		in press	
Tanaka Y, Nakayamada S, Okada Y.	Osteoblasts and osteoclasts in bone remodeling and inflammation	Current Drug targets- inflammation and allergy		in press	
Tsujimura S, Saito K, Nakayamada S, Nakano K, Tanaka Y.	Clinical relevance of expression of P-glycoprotein on peripheral lymphocytes to steroid-resistance in systemic lupus erythematosus.	Arthritis Rheum		in press	
三澤晴雄, 岡田洋右, 神田加寿子, 森田恵美子, 田中良哉	当科における糖尿病初期治療と血糖コントロール状況の変遷	臨床と研究	81	111-114	2004
毛利文彦, 塚田順一, 森本浩章, 東丈裕, 溝部貴光, 太田貴徳, 窪田歩, 戸田陽子, 小川亮介, 田中良哉	成人T細胞白血病における高カルシウム血症に対するビスホスフォネートの有効性	癌の臨床	50	731-736	2004
三澤晴雄, 岡田洋右, 神田加寿子, 森田恵美子, 田中良哉	軽症2型糖尿病に対するナテグリニドまたはボグリボースの使用に関する臨床的相違	Diabetes Frontier	15	717-720	2004
田中良哉	抗CD20抗体	Current Therapy	22	53-58	2004
名和田雅夫, 齋藤和義, 藤井幸一, 徳永美貴子, 塚田順一, 田中良哉	抗CD20抗体療法.	内科	93	319-326	2004
田中良哉	免疫学的生物製剤をいかに膠原病に適用するか	Molecular Medicine	41	204-209	2004
田中良哉	CD20を標的としたSLE等の自己免疫疾患の分子治療	医学のあゆみ	208	349-354	2004
田中良哉	炎症細胞の遊走のメカニズム	アレルギーの臨床	24	239-243	2004
田中良哉	混合性結合組織病	臨床と研究	81	63-66	2004
田中良哉	抗CD20抗体による自己免疫疾患の治療	日本臨床免疫学会雑誌	27	28-33	2004
田中良哉	抗CD20抗体	分子リウマチ	1	32-38	2004
齋藤和義, 田中良哉	膠原病疾患に併発するカリニ肺炎の早期診断と1次予防	九州リウマチ	23	134-138	2004
岡田洋右, 田中良哉	産業界から見た糖尿病治療の留意点: 早期発見と早期治療	新薬と治療	24	239-243	2004
田中良哉	関節リウマチと全身性エリテマトーデスの治療への抗体医薬の導入	血液・腫瘍科	48	523-531	2004
田中良哉	骨芽細胞上の接着分子発現と活性の制御	臨床免疫	41	538-544	2004
岡田洋右, 田中良哉	膠原病患者に於けるステロイド性骨粗鬆症発症の一次予防の検討	Osteoporosis Japan	12	321-322	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田中良哉	抗リウマチ薬 — 最近の動向	医学のあゆみ	209	821-826	2004
田中良哉、辻村静代	P-糖蛋白質に対するシクロスポリンの作用:薬剤抵抗性の克服	医薬ジャーナル	40	178-182	2004
田中良哉	自己免疫疾患とケモカイン	臨床化学	33	73-78	2004
田中良哉	MMP(マトリックスメタロプロテアーゼ)に対するシクロスポリンの作用	医薬ジャーナル	40	188-193	2004
田中良哉	抗CD20抗体によるSLEの治療	リウマチ科	31	559-565	2004
田中良哉、中山田真吾、岡田洋右	ビスホスホネート製剤によるステロイド性骨粗鬆症の一次予防	DENTAL DIAMOND	29	68-69	2004
田中良哉	免疫シグナルと続発性骨粗鬆症の病態機構	日本整形外科学会雑誌	78	411-416	2004
田中良哉、齋藤和義	膠原病に於ける日和見感染症とその対策	日本内科学会雑誌	93	1654-1659	2004
中山田真吾、田中良哉	SLE患者T細胞活性化におけるCD29(β1インテグリン)-FAKシグナル伝達系の役割	分子リウマチ	1	192-198	2004
田中良哉	ステロイド療法とその副作用対策	日本臨床	62	1867-1872	2004
田中良哉	生物学的製剤(リツキシマブを中心に)	医学のあゆみ	210	1034-1039	2004
田中良哉	抗リウマチ薬	予防医学	34	99-105	2004
田中良哉	膠原病・リウマチの治療:薬が効かなくなったとき	Medical Practice	21	1753	2004
田中良哉、塚田順一	検査分子と転移	血液・腫瘍科	49	S241-S247	2004
田中良哉、岡田洋右	ランゲルハンス細胞組織球症	Molecular medicine	41	1382-1386	2004
辻村静代、齋藤和義、河野公俊、田中良哉	SLEにおける多剤抵抗性遺伝子発現とその制御	臨床免疫	42	442-447	2004
中山田真吾、田中良哉	滑膜増殖におけるRhoシグナルの関与とその人為的制御	臨床免疫	42	547-552	2004
岡崎亮、田中良哉、田中郁子、竹内靖博	ステロイド骨粗鬆症の現状と対策	medicina	41	2081-2093	2004
福島あゆみ、岡田洋右、谷川隆久、森田恵美子、田中良哉	Propylthiouracilによる薬剤性血小板減少と特発性血小板減少性紫斑病が合併したバセドウ病の1例	内科	93	189-192	2004
辻村静代、齋藤和義、徳永美貴子、中塚敬輔、中山田真吾、中野和久、澤向範文、名和田雅夫、田中良哉	慢性C型肝炎に伴うクリオグロブリン血症にて増悪した関節症状にIFN-α療法が奏効したRAの一例	日本臨床免疫学会雑誌	27	48-53	2004
神田加壽子、岡田洋右、中井美穂、森田恵美子、田中良哉	Crohn病再燃時に発症したバセドウ病の一例	内科	94	397-399	2004
三澤晴雄、岡田洋右、谷川隆久、福島あゆみ、廣瀬暁子、河原智恵、神田加壽子、森田恵美子、田中良哉	甲状腺機能正常化後も高インスリン血症の関与が疑われる周期性四肢麻痺を繰り返したバセドウ病の1例	糖尿病	47	133-136	2004
峯信一郎、田中良哉	発症から自然軽快までの経過が追えたCronkhite-Canada症候群の1例	産業医科大学雑誌	26	245-251	2004
福島あゆみ、岡田洋右、廣瀬暁子、河原智恵、三澤晴雄、中井美穂、谷川隆久、森田恵美子、神田加壽子、田中良哉	ガチフロキサシンにより血糖コントロールが増悪した2型糖尿病の1例	プラクティス	21	201-206	2004
河野一郎、塚田順一、戸田陽子、小川亮介、東太裕、岩重厚司、大田貞徳、窪田歩、渡部貴光、森本浩章、町田真一郎、田中良哉	同種末梢血幹細胞移植後、インターフェロンα併用ドナーリンパ球輸注にて寛解となった治療抵抗性び慢性大細胞型B細胞リンパ腫	臨床血液	45	155-160	2004
栗田智子、松浦祐介、田中真由美、倉橋敦也、柏村正道、中野和久、田中良哉	多発性血管炎性陰性から卵巣巣細胞腫瘍が発見された1症例	産科と婦人科	71	677-681	2004
藤本良士、岡田洋右、岸川博史、神田加壽子、森田恵美子、田中良哉	腺体尾部切除後に発症したインスリン抵抗性を主因とした糖尿病の一例	臨床と研究	81	1331-1333	2004
澤向範文、齋藤和義、中塚敬輔、藤井幸一、中山田真吾、藤井裕子、中野和久、徳永美貴子、辻村静代、名和田雅夫、香妻妙子、田中良哉	著明な大動脈弁・僧帽弁破壊により急性心不全を呈した顕微鏡的多発血管炎の1症例	九州リウマチ	24	93-98	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
徳永美貴子, 斎藤和義, 中塚敬輔, 中山田真吾, 中野和久, 辻村静代, 大田俊行, 田中良哉	ループス腎臓炎による排尿障害並びにループス精神病にIV-CVが有効であった一症例	日本臨床免疫学会雑誌	27	338-344	2004
河原哲也, 岡田洋右, 広瀬曉子, 谷川隆久, 神田加壽子, 田中良哉	グリチルリチンによる偽性アルドステロン症にて心停止を来した一症例	臨床と研究	81	1825-1828	2004
岸川博文, 岡田洋右, 広瀬曉子, 河原哲也, 三澤晴雄, 谷川隆久, 神田加壽子, 森田恵美子, 田中良哉	Loxoprofen sodiumが誘引と思われるインスリン自己免疫症候群の1例	糖尿病	47	851-854	2004
田中良哉, 中山田真吾	β 1インテグリンシグナル伝達とSLE	炎症と免疫	13	87-94	2005
田中良哉	ステロイドの効果と注意点	痛みと臨床	5	34-41	2005
Umehara, H., Inoue, H	Role for adapter proteins in costimulatory signal	Mol. Immunol	38	587-596	2002
Tanaka, Y, Umehara, et al.	H-Ras/Mitogen-activated protein kinase pathway in	J. Biol. Chem	277	21446-21452	2002
Nishimura, M., Umehara, H	Dual functions of fractalkine/CX3CR1 in trafficking of circulating cytotoxic effector lymphocytes that are defined by CX3CR1 expression.	J. Immunol.	168	6173-6180	2002
Kondo, T, Umehara, H, et al.	Vesnarinone causes oxidative damage by inhibiting catalase function through ceramide action in myeloid cell apoptosis.	Mol. Pharm	61	620-627	2002
Kondo, T, Umehara, H, et al.	Control of ceramide-induced apoptosis by IGF-1: involvement of PI-3 kinase, caspase-3 and catalase.	J. Cell Death Differnt	9	682-693	2002
Kawase, M., Umehara, H, et al.	Increase of ceramide in adriamycin-induced HL-60 cell apoptosis: detection by a novel anti-ceramide antibody	BBA	1584	104-114	2002
Inoue, H., Umehara, H, et al.	Lipid rafts as the signaling scaffold for NK cell	Eur. J. Immunol	32	21898-2198	2002
梅原久範	全身性強皮症	医学のあゆみ 別冊		68-72	2003
梅原久範	NK細胞活性化におけるlipid raftの関与	臨床免疫	26	9-20	2003
梅原久範	"Lipid rafts" 細胞活性化のための"脂肪の筏",	臨床免疫学会誌	26	9-20	2003
梅原久範	T細胞シグナル伝達におけるraftの役割,	炎症と免疫	11	100-109	2003
梅原久範	リンパ球と血管内皮細胞との相互作用におけるフラクタルカインの関与	臨床免疫	40	371-378	2003
梅原久範	RAとフラクタルカイン	リウマチ科	29	29-34	2003
Yoneda, O, Umehara, et al.	Membrane bound form of fractalkine induces IFN- γ production by NK cells: A role for Th1 response.	Eur. J. Immunol.	33	53-58	2003
Yamaoka, S., H. Umehara, et al.	Expression cloning of a human cDNA restoring sphingomyelin synthesis and cell growth in sphingomyelin synthase-defective lymphoid cells.	J. Biol. Chem	279	18688-18693	2004
Uchida, Y., H. Umehara, et al.	Ceramide reduction and transcriptional up-regulation of glucosylceramide synthase through DOX-activated Spl in drug-resistant HL-60/ADR cells.	Cancer Res.	64	6271-6279	2004
Umehara H, Bloom ET, et al.	Fractalkine and vascular biology: from basic research to clinical diseases.	Arterio. Thromb. Vasc. Biol.	24	34-40	2004
Watanabe, I., H. Umehara, et al.	Increase of the ceramide content in nuclei through caspase-3 dependent inhibition of sphingomyelin synthase in Fas-induced Jurkat T cell apoptosis.	Cancer Res.	64	1000-1007	2004
Kawabata, D, H. Umehara, et al.	Ameliorative effects of follistatin-related protein/TSC-36 on joint inflammation in a mouse model of arthritis	Arthritis Rheum	50	660-666	2004
Iwai, K., Umehara, et al.	Ceramide increases oxidative damage due to inhibition of catalase by caspase-3-dependent proteolysis in HL-60 cell apoptosis.	J. Biol. Chem.	279	9813-9822	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
梅原久範	Fas依存性アポトーシスにおけるスフィンゴミエリンの役割	臨床免疫	42	292	2005
駒形 嘉紀	経口免疫寛容の基礎と応用	Bio Clinica	17	542-546	2002
Maron R, Slavin AJ, Hoffmann E, Komagata Y, Weiner HL.	Oral tolerance to copolymer 1 in myelin basic protein (MBP) TCR transgenic mice: cross-reactivity with MBP-specific TCR and differential induction of anti-inflammatory cytokines.	Int Immunol	14	131-138	2002
駒形 嘉紀	粘膜免疫と経口免疫寛容	内科	91	1271	2003
駒形 嘉紀	経口トレランスと関節炎治療への応用	Rheumatology Clinical Update	10	36-37	2003
駒形嘉紀、永谷勝也、山本一彦	経口トレランス	現代医療	35	2515-2519	2003
Kobari Y, Misaki Y, Setoguchi K, Zhao W, Komagata Y, Kawahata K, Iwakura Y, Yamamoto K.	T cells accumulating in the inflamed joints of a spontaneous murine model of rheumatoid arthritis become restricted to common clonotypes during disease progression.	Int Immunol	16	131-138	2004
Nagatani K, Sagawa K, Komagata Y, Yamamoto K.	Peyer's Patch dendritic cells capturing oral antigen interact with antigen-specific T cells and induce gut-homing CD4-CD25+ regulatory T cells in Peyer's Patches.	Ann. N.Y. Acad. Sci.	1029	366-370	2004
永谷勝也、駒形嘉紀	CD4-CD25-T細胞の腸管へのホーミング機序	臨床免疫	41	740-742	2004
Sagawa K, Nagatani K, Komagata Y, Yamamoto K.	Angiotensin Receptor Blockers (ARBs) Suppress Antigen Specific T cell Responses and Ameliorate Collagen Induced Arthritis in Mice.	Arthritis Rheum		in press	2005
Hori, S., Sakaguchi, S	Control of regulatory T cell development by the transcription factor Foxp3.	Science.	299	1057-1061	2003
Sakaguchi, S	Control of immune responses by naturally arising CD4+ regulatory T cells.	J. Exp. Med.	197	397-401	2003
Takahashi, T. and Sakaguchi, S.	Naturally arising CD25+CD4+ regulatory T cells in maintaining immunologic self-tolerance and preventing autoimmune disease.	Curr. Mol. Med.	3	693-706	2003
Hori, S., Sakaguchi, S	Control of autoimmunity by natural regulatory T cells. Adv.	Immunol.	81	329-369	2003
Sakaguchi, S.	Taming transplantation by regulatory T cells.	Nature Medicine	9	1117-1118	2003
Sakaguchi, N., Sakaguchi, S.	Altered thymic T-cell selection due to a mutation of the ZAP-70 gene causes autoimmune arthritis in mice.	Nature.	426	454-60	2003
Sakaguchi, S.	The origin of FOXP3-expressing CD4+ regulatory T cells: thymus or periphery.	J. Clin. Invest.	112	1310-1312	2003
Fehervari, Z. and Sakaguchi, S.	A paragon of self-tolerance:Regulatory T cells and the control of immune responses.	Arthritis Res. Ther.	26	19-25	2004
Fehervari, Z., and Sakaguchi, S.	Development and function of CD25+CD4+ regulatory T cells.	Curr. Opinion in Immunol.	16	203-208	2004
Zhang, X., Sakaguchi, S	IL-10 is involved in the suppression of experimental autoimmune encephalomyelitis by CD25+CD4+ regulatory T cells.	Int. Immunology	16	1-8	2004
Sakaguchi, S	Naturally arising CD4+ regulatory T cells for immunologic self-tolerance and negative control of immune responses.	Ann. Rev. Immunol.	22	531-562	2004
Choi, B. K., Sakaguchi, S.	4-1BB-dependent inhibition of immunosuppression by activated CD4+CD25+ T cells.	J. Leukoc. Biol.	75	785-791	2004
Hori, S., and Sakaguchi, S	Foxp3, a critical regulator of regulatory T cell development and function.	Microbes and Infection.	6	745-51	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kajjura, F., Sakaguchi, S.	NF- κ B-inducing kinase establishes self-tolerance in a thymic-stroma dependent manner.	J. Immunol.	172	2067-2075	2004
Suri, A., Sakaguchi, S.	Regulation of autoimmune diabetes by non-islet-specific T cells - a role for the glucocorticoid-induced TNF receptor.	Eur. J. Immunol.	34	447-454	2004
Dittmer, U., Sakaguchi, S.	Functional impairment of CD8 ⁺ T cells by regulatory T cells during persistent retroviral infection.	Immunity.	20	1~20	2004
Nishimura, E., Sakaguchi, S.	Induction of antigen-specific immunologic tolerance by in vivo and in vitro antigen-specific expansion of naturally arising CD25 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cells.	Int. Immunol.	16	1189-1201	2004
Hata, H., Sakaguchi, S.	Distinct contribution of IL-6, TNF α , IL-1, and IL-10 to T cell-mediated spontaneous autoimmune arthritis in mice.	J. Clin. Invest.	114	582-588	2004
Fehervari, Z., and Sakaguchi, S.	Control of CD25 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cell activation and function by dendritic cells.	Int. Immunol.	16	1769-1780	2004
Kanamaru, F., Sakaguchi, S.	Costimulation via glucocorticoid-induced TNF receptor in both conventional and CD25 ⁺ regulatory CD4 ⁺ T cells.	J. Immunol.	172	7306-7314	2004
Yagi, H., Sakaguchi, S.	Crucial role of FOXP3 in the development and function of human CD25 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cells.	Int. Immunol.	16	1643-1656	2004
Takahata, Y., Sakaguchi, S.	CD25 ⁺ CD4 ⁺ T cells in human cord blood: an immunoregulatory subset with naive phenotype and specific expression of forkhead box p3 (Foxp3) gene.	Exp Hematol.	32	622-629	2004
He, H., Sakaguchi, S.	Reduction of retrovirus-induced immunosuppression by in vivo modulation of T cells during acute infection.	J. Virology.	78	1641-7	2004
Fehervari, Z., and Sakaguchi, S.	CD4 ⁺ regulatory T cells and immune control.	J. Clin. Invest.	114	1209-117	2004
Ying Li, Y., Sakaguchi, S.	Analyses of peripheral blood mononuclear cells in operational tolerance after pediatric living donor liver transplantation.	American J. Transplantation.	4	2118-2125	2004
Muriglian, S. J., Sakaguchi, S.	GITR Activation induces an opposite effect on alloreactive CD4 ⁺ and CD8 ⁺ T cells in graft-versus-host disease.	J. Exp. Med.	200	149-157	2004
Turk MJ, Sakaguchi, S.	Concomitant tumor immunity to a poorly immunogenic melanoma is prevented by regulatory T cells.	J. Exp. Med.	200	771-82	2004
Gondek, D. C., Sakaguchi, S.	Cutting Edge: Contact-mediated suppression by CD4 ⁺ CD25 ⁺ regulatory cells involves a granzyme B-dependent, perforin-independent mechanism.	J. Immunol.	174	1783-1786	2005
Yoshitomi, H., Sakaguchi, S.	Environmental stimulation of innate immunity triggers chronic arthritis in mice genetically prone to produce arthritogenic autoimmune T cells: a key role of fungal β -glucans and their receptor Dectin-1.	J. Exp. Med.			in press
Setoguchi, R., Sakaguchi, S.	A crucial role of IL-2 in the homeostatic maintenance of CD25 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cells: induction of autoimmune disease by neutralization of IL-2.	J. Exp. Med.			in press
Matsubara, Sakaguchi, S.,	Phenotypic and functional relationship between adult T cell leukemia and regulatory T cells.	Leukemia			in press
Fehervari, Z. and Sakaguchi, S.	T lymphocytes: Regulatory. Nature Encyclopedia of Life	Sciences.			in press
Sakaguchi, S.	Naturally arising Foxp3-expressing CD25 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cells in immunologic tolerance to self and non-self.	Nature Immunol.			in press
Fehervari, Z. and Sakaguchi,	A common basis of self-tolerance and transplantation tolerance: a simple way of inducing transplantation tolerance with naturally arising CD25 ⁺ CD4 ⁺ regulatory T cells. Philosophical Transactions	Biological Sciences.			in press

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Sakaguchi, S. and Sakaguchi, N	Regulatory T cells in self-tolerance and autoimmune diseases.	Int. Rev. Immunol.			in press
Sakaguchi, S	Regulatory T cells in autoimmune diseases.	Int. Rev. Immunol.			in press
Nomura, T., and Sakaguchi, S	Regulatory T cells in tumor immunity.	Current Topics in Microbiology and Immunology.			in press
Sakaguchi, S., and Sakaguchi, N	History of CD25+CD4+ regulatory T cells.	Progress in Inflammation Research.			in press
Chai, J.-G., Sakaguchi, S.,	T regulatory cells, derived from naive CD4+CD25- T cells by in vitro Foxp3 gene transfer, can induce transplantation tolerance.	Transplantation.			in press
Takayanagi, H., Kim, S., Koga, T., Nishina, H., Isshiki, M., Yoshida, H., Saiura, A., Isobe, M., Yokochi, T., Inoue, J.-I., Wagner, E. F., Mak, T. W., Kodama, T., and Taniguchi, T.	Induction and activation of the transcription factor NFATc1 (NFAT2) integrate RANKL signaling for terminal differentiation of osteoclasts.	Dev Cell	3	889-901	2002
Takayanagi, H., Kim, S., Matsuo, K., Suzuki, H., Suzuki, T., Sato, K., Yokochi, T., Oda, H., Nakamura, K., Ida, N., Wagner, E. F. & Taniguchi, T.	RANKL maintains bone homeostasis through c-Fos-dependent induction of IFN- β .	Nature	416	744-749	2002
Nakamura, I., Kadono, Y., Takayanagi, H., Jimi, E., Miyazaki, T., Oda, H., Nakamura, K., Tanaka, S., Rodan, G. A. & Duong le, T.	IL-1 regulates cytoskeletal organization in osteoclasts via TNF receptor-associated factor 6/c-Src complex.	J Immunol	168	5103-5109	2002
Yamamoto, A., Miyazaki, T., Kadono, Y., Takayanagi, H., Miura, T., Nishina, H., Katada, T., Wakabayashi, K., Oda, H., Nakamura, K. & Tanaka, S.	Possible involvement of I κ B kinase 2 and MKK7 in osteoclastogenesis induced by receptor activator of nuclear factor κ B ligand.	J Bone Miner Res	17	612-21	2002
Ogasawara, K., Hida, S., Weng, Y., Saiura, A., Sato, K., Takayanagi, H., Sakaguchi, S., Yokochi, T., Kodama, T., Naitoh, M., De Martino, J. A. & Taniguchi, T.	Requirement of the IFN- α/β -induced CXCR3 chemokine signalling for CD8- T cell activation.	Genes Cells	7	309-320	2002
Takayanagi, H., Kim, S., and Taniguchi, T.	Signaling crosstalk between RANKL and interferons in osteoclast differentiation.	Arthritis Res	4	S227-232	2002
Takayanagi, H.	How does the immune system break and protect bone?	Science (on line version)		http://www.sciencemag.org/feature/data/pharmacia/2002/takayanagi.shl	2002
門野夕峰, 高柳広, 田中栄	破骨細胞の分化、機能、生存におけるRANKL/RANKシグナルーIFNシグナルとのクロストークを含めて	実験医学2002年増刊号「最新の骨研究に迫る」	20・17	2477-2481	2002
高柳 広	RANKLと骨関節疾患	医学のあゆみ	203・7	476-480	2002
高柳 広	免疫学と骨代謝の接点	日本臨床	60・12	2287-2295	2002
高柳 広	RAにおける免疫学と骨代謝の接点	THE BONE	16・5	455-461	2002
高柳 広	骨免疫学の新たな展開ーその生理的、病理学的な意義ー(編集主幹および総説)	Medical Science Digest	28・11	400-401	2002
高柳 広	IFN- β が破骨細胞の形成を抑制する-c-Fosを介したRANKLシグナルの自己制御機構	Molecular Medicine	39・7	836-841	2002
高柳 広	RANKL-RANKシグナルと骨破壊	Mebio	19・5	40-48	2002
Kim, S., Koga, T., Isobe, M., Kern, B. E., Yokochi, T., Chin, Y. E., Karsenty, G., Taniguchi, T., and Takayanagi, H.	Stat1 functions as a cytoplasmic attenuator of Runx2 in the transcriptional program of osteoblast differentiation.	Genes Dev	17・16	1979-1991	2003
高柳 広	免疫系シグナルによる破骨細胞分化制御	生化学	75・12	1535-1540	2003

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高柳 広	インターフェロンとRANKLシグナル制御	Molecular Medicine	40・11	1332-1340	2003
高柳 広	免疫と骨代謝のクロストーク	リウマチ	43・4	624-631	2003
高柳 広	RANKLの骨吸収作用を制御するIFN- β とIFN- γ の役割	THE BONE	17・5	51-59	2003
高柳 広	サイトカインシグナルのクロストーク: RANKLの制御系をモデルとして	炎症と免疫	11・4	106-116	2003
高柳 広	関節リウマチにおける骨破壊機序	臨床カルシウム	13・6	16-23	2003
高柳 広	オステオイムノロジー	Molecular Medicine	40・6	690-695	2003
高柳 広	免疫と骨	医学のあゆみ	205・3	190-192	2003
高柳 広	IRFファミリーおよびStatファミリーによる骨代謝制御機構の解明	Osteoporosis Japan	11・4	768-772	2003
中島利博、田中栄、妻木純行、高柳広(紙上座談会)	運動器科学の黎明	カレントセラピー	21・3	80-87	2003
高柳広、織田弘美	関節炎とインターフェロン	リウマチ科	29・1	50-57	2003
高柳広、金 宣和、谷口維紹	サイトカインと骨代謝	実験医学2003年1月増刊号「シグナル伝達研究」2003	21・2	209-214	2003
Matsumoto, M., Kogawa, M., Wada, S., Takavanagi, H., Tsujimoto, M., Katayama, S., Hisatake, K., Nogi, Y.	Essential role of p38 MAP kinase in cathepsin K gene expression during osteoclastogenesis through association of NFATc1 and PU.1.	J Biol Chem.	279・44	45969-45979	2004
Koga, T., Inui, M., Inoue, K., Kim, S., Suematsu, A., Kobayashi, E., Iwata, T., Ohnishi, H., Matozaki, T., Kodama, T., Taniguchi, T., Takavanagi, H.*, and Takai, T.* *Corresponding authors	Costimulatory signals mediated by the ITAM motif cooperate with RANKL for bone homeostasis.	Nature	428	758-763	2004
Urushibara, M.*, Takavanagi, H.*, Koga, T., Kim, S., Isobe, M., Morishita, Y., Nakagawa, T., Loeffler, M., Kodama, T., Kurosawa, H., and Taniguchi, T. *Equal contributors	The antirheumatic drug leflunomide inhibits osteoclastogenesis by interfering with receptor activator of NF- κ B ligand-stimulated induction of nuclear factor of activated T cells c1.	Arthritis Rheum	50・3	794-804	2004
高柳 広	骨免疫学 オステオイムノロジー	感染炎症免疫	34・4	22-32	2004
高柳 広	RANKLによる破骨細胞分化制御と関節リウマチ	免疫2005 Molecular Medicine臨時増刊号	41	343-351	2004
高柳 広	運動器の形成・維持・老化にかかわる遺伝子制御ネットワークの解明	ゲノムネットワーク 蛋白質核酸酵素 増刊	49・17	2943-2949	2004
高柳 広	オステオイムノロジー	細胞工学	23・12	1424-1430	2004
高柳 広	Stat1とRunxファミリー転写因子: 自己免疫疾患における役割	分子リウマチ	1・3	168-175	2004
高柳 広	骨免疫制御とサイトカイン	分子細胞治療	3・4	52-60	2004
高柳 広	ITAMを介した共刺激シグナルとRANKLによる骨代謝の維持機構	実験医学	22・12	1726-1729	2004
高柳 広	破骨細胞活性化	医学のあゆみ	209・10	771-778	2004
高柳 広	RAにおける免疫系と骨代謝の相互作用	分子リウマチ	6・2	74-81	2004
高柳 広	破骨細胞活性化と人為的制御	臨床免疫	41・3	284-290	2004
高柳 広	骨免疫学の世界? 骨疾患と免疫異常(編集主幹および「はじめに」)	医学のあゆみ	208・11	899	2004
金宣和、高柳広	IFN-Statシグナルと骨代謝	医学のあゆみ	208・11	920-925	2004
高柳 広	骨と免疫のクロストーク	現代医療	36・3	697-704	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
高柳 広	Osteoimmunology	内科	93・2	223-228	2004
Takayanagi, H., Kim, S., Koga, T. and Taniguchi, T.	Stat1-mediated cytoplasmic attenuation in osteoimmunology.	J Cell Biochem	94	232-240	2005
高柳 広	関節リウマチにおける骨破壊の分子機構	内科	95・2	338-342	2005
高柳 広	免疫系と骨代謝	日本臨床	63増刊1	87-95	2005
高柳 広	関節リウマチにおける軟骨破壊の分子機構	内科	95・1	136-139	2005
Gohda, J., Akiyama, T., Koga, T., Takayanagi, H., Tanaka, S. and Inoue, J.	RANK-mediated amplification of TRAF6 signaling leads to NFATc1 induction during osteoclastogenesis.	EMBO	24・4	790-799	2005
Takatsuna, H., Asagiri, M., Kubota, T., Oka, K., Osada, T., Sugiyama, C., Saito, H., Aoki, K., Ohya, K., Takayanagi, H. and Umezawa K.	Inhibition of RANKL-induced Osteoclastogenesis by (-)-DHMEQ, a Novel NF- κ B Inhibitor, through Downregulation of NFATc1.	J Bone Mineral Res		in press	
Takayanagi H.	Inflammatory bone destruction and osteoimmunology.	J Periodontal Res		in press	
Takayanagi H.	Mechanistic insight into osteoclast differentiation in osteoimmunology.	J Mol Med		in press	
Tsuzaka T, Onoda N, Yoshimoto K, Zhang L, Pang M, Abe T, and Takeuchi T.	T cell receptor ζ mRNA with an alternatively spliced 3' untranslated region is generated predominantly in the peripheral blood T cells of systemic lupus erythematosus patients.	Modern Rheum	12	167-173	2002
Pang M, Setoyama Y, Tsuzaka K, Yoshimoto K, Amano K, Abe T, and Takeuchi T.	Defective expression and tyrosine phosphorylation of the T cell receptor zeta chain in peripheral blood T cells from systemic lupus erythematosus patients.	Clin Exp Immunol	129	160-169	2002
宮坂信之 小池隆夫 竹内 勤 山本一彦	膠原病治療の現状と問題点	臨床雑誌 内科	89(2)	317-335	2002
竹内 勤	T細胞シグナル伝達分子機構	炎症と免疫	10(3)	321	2002
竹内 勤	炎症とサイトカイン 一病態から治療応用へー序論	最新医学	57(4)	829-830	2002
竹内 勤	全身性エリテマトーデス	総合臨床	151(7)	2122-2128	2002
竹内 勤	自己免疫疾患のモノクローナル抗体治療	Medical Science digest	28(8)	330-333	2002
亀田秀人、瀬戸山由美子、竹内 勤	T細胞シグナル伝達におけるアダプター分子の役割	炎症と免疫	10(5)	83-88	2002
Tsuzaka K, Fukuhara I, Setoyama Y, Yoshimoto K, Suzuki K, Abe T, and Takeuchi T.	TCR ζ mRNA with an alternatively spliced 3' untranslated region detected in systemic lupus erythematosus patients leads to the down-regulation of TCR ζ and TCR-CD3 complex.	J Immunol	171	2496-2503,	2003
竹内 勤	抗TNF製剤の最近の進歩と問題点	現代医療	36	131	2004.3
亀田秀人、竹内 勤	膠原病肺病変に対するシクロスポリン療法	呼吸	23	47-51	2004.1
亀田秀人、竹内 勤	TNFを標的分子とした慢性炎症性疾患の治療ー抗TNF生物製剤による関節リウマチの寛解導入ー	医学のあゆみ	208	336-342	2004.1
竹内 勤	抗TNF製剤の最近の進歩と問題点	現代医療	36	131	2004.3
Takeuchi T, Tsuzaka K, and Abe T.	Altered expression of the T cell receptor-CD3 complex in systemic lupus erythematosus	Int Rev Immunol	23	273-291	2004
Nishimoto N, Yoshizaki K, Miyasaka N, Kazuhiko Y, Kawai S, Takeuchi T, Hashimoto J, Azuma J, and Kishimoto T	Treatment of Rheumatoid Arthritis with humanized anti-IL-6 receptor monoclonal antibody: A multicenter, double-blind, placebo-controlled trial.	Arthritis & Rheum	50	1761-1769	2004

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Mori T, Kameda H, Ogawa H, Iizuka A, Sekiguchi N, Takei H, Nagasawa H, Tokuhira M, Tanaka T, Saito Y, Amano K, Abe T, and <u>Takeuchi T.</u>	Incidence of cytomegalovirus reactivation in patients with inflammatory connective tissue disease who are in immunosuppressive therapy	J Rheum	31	1349-1351	2004
Tsuzaka K, Shiraishi K, Yoshimoto K, Setoyama Y, Abe T, and <u>Takeuchi T.</u>	A splice variant of the TCR z mRNA lacking exon 7 leads to the down-regulation of TCR z, the TCR/CD3 complex, and IL-2 production in SLE T cells.	J Immunol	174	3518-3525	2005
<u>Takeuchi T.</u> , Tsuzaka K, Kameda H, and Amano K.	Therapeutic target: in misguided T cells in systemic lupus erythematosus.	Current Drug Target			in press.
<u>Takeuchi T.</u> , Tsuzaka K, Abe T, Yoshimoto K, Shiraishi K, and Amano K.	T cell abnormalities in systemic lupus erythematosus.	Autoimmunity			in press.
<u>Takeuchi T.</u> , Amano K, and Kameda H.	Anti-TNF biological agents in rheumatoid arthritis and other inflammatory diseases.	Allergology Int			in press.
Kameda H, Amano K, Sekiguchi N, Takei H, Ogawa H, Nagasawa H, and <u>Takeuchi T.</u>	Factors predicting response to a low-dose methotrexate therapy in patients with rheumatoid arthritis: A better response in male patients.	Mod Rheum			in press.
Miyasaka N, <u>Takeuchi T.</u> , and Eguchi K	Official Japanese guidelines for the use of infliximab for Rheumatoid Arthritis.	Mod Rheum			in press.
竹内 勤	生物学的製剤の新薬開発の現状と問題点	CLINICIAN	51	118-124	2004
鍋木淳一、竹内 勤 他7名	SLE,SLE疑診例におけるルーブスアンチコアグラント測定の臨床的意義	日本医事新報	4208	25-28	2004
竹内 勤、伊藤 哲	関節リウマチの病態・治療に対する生物学的・分子生物学的アプローチ	Arthritis-運動器疾患と炎症-	2(3)	156-161	2004
竹内 勤、天野宏一	TNF阻害による関節リウマチの治療	日本臨床免疫学会誌	27(1)	7-15	2004
竹内 勤	RAに対する生物学的製剤の新薬開発の現状と課題	炎症と免疫	12(4)	498-503	2004
竹内 勤	関節リウマチにおける生物学的製剤による治療	Medical Science Digest	30(13)	533-536	2004
鈴木勝也、亀田秀人、竹内 勤	PD-1と自己免疫	炎症と免疫	12(6)	758-762	2004
竹内 勤	TNF阻害療法による関節破壊抑制と破壊修復	分子リウマチ	1(2)	113-118	2005
Makiyo T, <u>Tamura N.</u> , Kato K, et al	CD154 expression and mRNA stability of activated CD4-positive T cells in patients with systemic lupus erythematosus	Mod Rheumatol	13	220-226	2003
Bando H, <u>Tamura N.</u> , Kobayashi S, et al	Endothelial cell-binding antibodies in patients with systemic lupus erythematosus	Mod Rheumatol	13	44-49	2003
Kimura K, Tsuda H, Yang K, <u>Tamura N.</u> , et al	Study of plasma levels of soluble CD40 ligand in systemic lupus erythematosus who have undergone plasmapheresis	Ther Apher	9	64-68	2005
Uatsume A, Saito H, Yamada Y, Yorozu I, Ueda O, Akamatsu K, <u>Nishimoto N.</u> , <u>Kishimoto T.</u> , Yoshizaki K, Ohnogi Y.	Anti-interleukin 6 (IL-6) receptor antibody suppresses Castleman's disease like symptoms emerged in IL-6 transgenic mice.	Cytokine	20	304-311	2002
Goya S, Matsuoka H, Mori M, Morishita H, Kida H, Kobashi Y, Kato T, Taguchi Y, Osaki T, Tachibana I, <u>Nishimoto N.</u> , Yoshizaki K, Kawase I, Hayashi S.	Sustained interleukin 6 signaling leads to the development of lymphoid organ-like structures in the lung.	J Pathol.	200	82-87	2003
Nakahara H, Song J, Sugimoto M, Hagihara K, Kishimoto T, Yoshizaki K, <u>Nishimoto N.</u>	Anti-interleukin-6 receptor antibody therapy reduces vascular endothelial growth factor (VEGF) production in rheumatoid arthritis.	Arthritis Rheum.	48	1521-1529	2003